



INTERVIEW

坂本進新理事長に聞く 「融合」+「新たな価値」

——理事長就任からおよそ半年、まずは現在の心境をお聞かせ下さい。

坂本 就任以降、新体制で実際に事業を運営するにあたり、その重責を日々ますます痛感しているところです。

そもそも、多くの古参の理事がおられる中で、当初は「なぜ私なのか、荷が重い」とためらっていたのも事実です。というのも、当社は創業から10～15年程は断裁機を製造していましたが、以降はフィルム関係のプレス機械を製造するメーカーとして事業を転換。現在では主に携帯電話やデジカメ、ゲーム機などに使用される極薄の粘着テープのついたフィルムを精密に型抜きするプレス機械を製造しています。つまり、「印刷」からかなり外れた領域で活動している会社であるため、私自身、印刷業界や関連団体との関係も薄いことが理事長をお引き受けするに当たりためらいを感じた大きな要因です。

しかし、それよりも長年組合を引っ張ってこられた加貫前理事長に「肩の荷を降ろしていただきたい」という想いが先に立ち、結果、引き受けることになった次第です。印刷業界のことを十分に把握できず皆様にご迷惑をお掛けすることが多いとは思いますが、遅ればせながらこれから勉強していきますので何卒暖かい目で見守っていただきたいと存じます。

また、この部分をサポートしていただく副理

事長には、廣瀬安宏氏(広瀬鉄工)と柳澤隆司氏(ベルパック)にお願いしました。お二人とも当組合の若手経営者を中心に組織する若生会時代からの気の知れた仲間なので、何より心強い存在です。

——坂本新理事長が目指す組合運営の方向性をお聞かせ下さい。

坂本 とくに大きく方向転換することはなく、加貫前理事長が推進してこられた「融合」の流れを踏襲していきます。ただ、現在の厳しい経営環境下において、この組合が果たす役割は少なくないと思っています。「融合」に組合の新たな価値を加えていくことが私の役割で、当面私がやるべきことは「組合に入っていて良かったな」と思ってもらえる組合にすること。つまり、間接的に組合員企業の活性化と維持・発展に繋がる組織づくりです。また、その実現のためにも組合員数の維持も必要だと考えています。

具体的な事業につきましては、従来までの高速道路、産業廃棄物、カーリース紹介、中古車買取、自動販売機設置、損害保険などの事業について、それぞれ見直しを図りながら進めていきます。

さらに、新たな事業として、外国人研修生受入事業を検討しています。これは、当組合が窓口となり、外国人研修生の技能実習(雇用)を組合員企業が行う事業です。現在、検



討委員会を立ち上げたところですが、新春講演会の前にこの説明会を実施し、組合員企業のニーズを探りたいと考えています。

その他、新入社員研修やメンタルヘルス講習会の実施なども検討していきたいと考えています。

——それでは最後にご趣味などをお聞かせ下さい。

坂本 音楽が好きで、趣味はカラオケです。スポーツはたまにテニスをするぐらいで、ゴルフはしません。

あと、ウォーキングが日課です。昼食後、当社のあるテクノステージ(産業団地)の遊歩道を30分くらい歩いて健康維持につとめています。

——ありがとうございました。

平成29年 新春講演会・新年互礼会のご案内

平成29年1月27日、恒例の平成29年「新春講演会」並びに「新年互礼会」をシェラトン都ホテル大阪において開催いたします。

今回の講演会は、講師に講談師の五代目 旭堂小南陵氏をお迎えし、「大和ハウス工業 創業者 石橋 信夫」と題して開催させていただきます。

なお、当日は講演前に外国人研修生受入事業組合員説明会も開催いたします。

詳細は同封のご案内状をご参照下さい

日時 平成29年1月27日(金)

場所 シェラトン都ホテル大阪

【新春講演会】3階 葛城の間 17:10～

(演題)大和ハウス工業 創業者 石橋信夫

(講師)講談師：五代目 旭堂小南陵氏

【臨時総会】3階 葛城の間 18:40～

【新年互礼会】3階 金剛の間 19:00～